

教育目標

- きまりを守り協力する生徒
- 学習に励み創造力をもつ生徒
- 強い意志と身体をもつ生徒

湯本一中では

生徒が「学ぶ」ために、しっかり教えます。
そして、生徒が「考える」ことを支援し、発表したり、行動したことを、確認・要約・賞賛・アドバイス等をし、「わかった」「できた」を実感させます。

生徒の実態・夢

保護者の教育的ニーズ
教職員の思い

<心と体験の充実> ※学びの基礎力

- 1 学びに向かう心の育成 【PLAN】
感じ取る力、学習動機、自己効力感、自己責任
- 2 学びを律する心の育成
学習継続、学習のけじめ、学習環境整備、授業への構え
- 3 学ぶためのスキル・態度の育成
学習スキル、定着の方略、学習習慣
- 4 豊かな基礎体験
直接体験、メディア体験、他人との支え合い、基本的生活習慣

仲間と力を合わせて、
共に学び合い、より
よい学校生活を送ろ
うとする生徒の育成

<環境の充実> 【PLAN】

- 1 「授業スタンダード」の活用
- 2 「家庭教育スタンダード」の活用
- 3 キャリア教育の次の能力の育成
○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力
○課題対応能力 ○キャリアプランニング能力
- 4 生徒指導の機能の活用
○自己存在感 ○自己決定の場 ○共感的人間関係
- 5 小中連携
- 6 少人数教育の充実

<授業の充実> 【PLAN】

- 1 学び、考え、対話を通して「わかった」「できた」が実感できる授業
- 2 学び方を身につけさせる指導
- 3 個に応じたきめ細かな指導
- 4 基礎・基本の習得
- 5 4を活用する力を身につけさせる指導
- 6 「考えさせる時間」「学び合いの時間」の授業への位置づけ
- 7 テスト・活用力育成シートの活用

<国語>基礎・基本となる指導の充実及び表現力の育成

<社会>ICTの活用・新聞記事等の活用

<数学>言語活動を重視し、思考力・判断力・表現力の育成

<理科>観察・実験を中心に基礎的な知識・技能の習得を図る

【DO】

<英語>多読・多聴・ICTの活用・パフォーマンステスト

<音楽>5分間鑑賞の継続と対話による感想の話し合い合唱活動の充実

<美術>発想活動充実の継続・造形活動を通じた表現力の育成

<技家>製作・実習を通して基本的な知識・技能の育成を行う

<保体>時間走の継続・集団行動による活気ある雰囲気作り

【DO】

<道徳科>考え、議論していくことを通して道徳性を養う。

【<ACTION>】

- ・授業の具体的改善策提示
- ・テスト結果の分析と改善策提示
- ・読書活動の推進

<生徒の姿から> 【CHECK】
□基本的スキルが身についているか

- 【<ACTION>】
- ・(学習)相談の実施
 - ・調査の分析と改善策提示

<生徒の姿から> 【CHECK】
□学び方が身についているか
□個別指導によって「わかった」「できた」を実感しているか

【<ACTION>】

- ・授業一人1回以上の研究授業の実施
- ・単元、1時間の指導計画の見直し

<生徒の姿から> 【CHECK】
□授業によって「わかった」「できた」を実感しているか